

**CASBEE\_Sapporo2014v1.2**  
(仮称)北5西8計画

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	実施設計段階				重点評価項目		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	A	B	C	D	評価点	重み係数	評価点	重み係数					
<b>Q1 建築物の環境品質</b>													<b>3.3</b>
<b>Q1 室内環境</b>													<b>3.5</b>
<b>1 音環境</b>													<b>3.7</b>
1.1 騒音													4.0
1.2 遮音													3.0
1 開口部遮音性能													5.0
2 界壁遮音性能													5.0
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)													5.0
4 界床遮音性能(重量衝撃源)													5.0
1.3 吸音													3.0
2 温熱環境													2.6
2.1 室温制御													3.0
1 室温													3.0
2 外皮性能													3.0
3 ゾーン別制御性													3.0
2.2 湿度制御													1.0
2.3 空調方式													3.0
3 光・視環境													3.0
3.1 屋光利用													3.0
1 屋光率													3.0
2 方位別開口													3.0
3 屋光利用設備													3.0
3.2 グレア対策													3.0
1 屋光制御													3.0
2 眩り込み対策													3.0
3.3 照度													3.0
3.4 照明制御													3.0
4 空気質環境													4.2
4.1 発生源対策													5.0
1 化学汚染物質													5.0
2 浮遊尘埃汚染													5.0
4.2 換気													3.0
1 換気量													3.0
2 自然換気性能													3.0
3 取り入れ外気への配慮													3.0
4.3 運用管理													3.0
1 CO <sub>2</sub> の監視													3.0
2 喫煙の制御													3.0
<b>Q2 サービス性能</b>													<b>3.1</b>
<b>1 機能性</b>													<b>3.1</b>
1.1 機能性・使いやすさ													3.0
1 広さ・収納性													3.0
2 高度情報通信設備対応													3.0
3 バリアフリー計画													3.0
1.2 心理性・快適性													3.0
1 広さ感・景観													3.0
2 リフレッシュスペース													3.0
3 内装計画													3.0
1.3 維持管理													3.5
1 維持管理に配慮した設計													4.0
2 維持管理用機能の確保													3.0
3 衛生管理業務													3.0
<b>2 耐用性・信頼性</b>													<b>2.9</b>
2.1 耐震・免震													3.0
1 耐震性													3.0
2 免震・制振性能													3.0
2.2 部品・部材の耐用年数													3.0
1 躯体材料の耐用年数													3.0
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔													3.0
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔													3.0
4 空調換気ダクトの更新必要間隔													3.0
5 空調・給排水配管の更新必要間隔													3.0
6 主要設備機器の更新必要間隔													3.0
2.4 信頼性													2.6
1 空調・換気設備													3.0
2 給排水・衛生設備													3.0
3 電気設備													3.0
4 機械・配管支持方法													3.0
5 通信・情報設備													1.0
<b>3 対応性・更新性</b>													<b>3.0</b>
3.1 空間のゆとり													3.0
1 階高のゆとり													3.0
2 空間の形状・自由さ													3.0
3.2 荷重のゆとり													3.0
3.3 設備の更新性													3.0
1 空調配管の更新性													3.0
2 給排水管の更新性													3.0
3 電気配線の更新性													3.0
4 通信配線の更新性													3.0
5 設備機器の更新性													3.0
6 バックアップスペースの確保													3.0

**CASBEE\_Sapporo2014v1.2**  
**(仮称)北5西8計画**

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

スコアシート	実施設計段階				重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄								
	重点評価項目									建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体			
	A	B	C	D						評価点	重み係数	評価点	重み係数				
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>													-	0.30	-	-	3.3
1 生物環境の保全と創出													4.0	0.30	-	-	4.0
2 まちなみ・景観への配慮													3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮													3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上													3.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上													3.0	0.50	-	-	-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>													-	-	-	-	2.7
<b>LR1 エネルギー</b>													-	0.40	-	-	2.6
1 建物外皮の熱負荷抑制													3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用													2.0	0.10	-	-	2.0
3 設備システムの高効率化													2.5	0.50	-	-	2.5
3.1 集合住宅以外の評価(3a.3b)													2.5	1.00	-	-	-
3.2 集合住宅の評価(3c)													3.0	0.20	-	-	3.0
4 効率的運用													3.0	0.20	-	-	3.0
4.1 集合住宅以外の評価													3.0	-	-	-	-
4.1.1 モニタリング													3.0	-	-	-	-
4.2 運用管理体制													3.0	-	-	-	-
4.1 集合住宅の評価													3.0	1.00	-	-	-
4.1.1 モニタリング													3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制													3.0	0.50	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>													-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護													3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水													4.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用													3.0	0.60	-	-	-
1.2.1 雨水利用システム導入の有無													3.0	0.70	-	-	-
1.2.2 雑排水等利用システム導入の有無													3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減													3.0	0.60	-	-	3.0
2.1 材料使用量の削減													3.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用													3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用													3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用													3.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材													3.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み													3.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避													2.7	0.20	-	-	2.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用													3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避													2.6	0.70	-	-	-
3.2.1 消火剤													4.0	0.33	-	-	-
3.2.2 発泡剤(断熱材等)													2.0	0.33	-	-	-
3.2.3 冷媒													2.0	0.33	-	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>													-	0.30	-	-	2.5
1 地球温暖化への配慮													2.0	0.33	-	-	2.0
2 地域環境への配慮													2.6	0.33	-	-	2.6
2.1 大気汚染防止													3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善													2.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制													3.7	0.25	-	-	-
2.3.1 雨水排水負荷低減													4.0	0.25	-	-	-
2.3.2 汚水処理負荷抑制													3.0	0.25	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制													4.0	0.25	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制													4.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮													3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止													3.0	0.40	-	-	-
3.1.1 騒音													3.0	0.33	-	-	-
3.1.2 振動													3.0	0.33	-	-	-
3.1.3 悪臭													3.0	0.33	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制													3.0	0.40	-	-	-
3.2.1 風害の抑制													3.0	0.70	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制													3.0	-	-	-	-
3.2.3 日照障害の抑制													3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制													3.0	0.20	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策													3.0	0.70	-	-	-
3.3.2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策													3.0	0.30	-	-	-